

様式 A-1

平成 28 年 3 月 10 日

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 福島県立磐城高等学校 佐々木晋一郎
2. 講師氏名: Dr. Bruno Adriano Ortega
3. 同行者氏名: 林 里美 さま
4. 実施日時: 平成 29 年 3 月 4 日 ( 土 ) 13:00 ~ 14:30
5. 参加生徒: 1 年生 12 人、 2 年生 26 人、 \_\_\_ 年生 \_\_\_ 人 (合計 38 人)  
備考: SSH 探究コースの生徒(理数系部活動所属者)
6. 講演題目:  
(英文) Using Numerical Modeling and Remote Sensing Technologies for Tsunami Disaster  
(和文) リアルタイムシミュレーションとリモートセンシングの融合による南米の津波予測高度化
7. 講演概要:  
リモートセンシング技術を使用することにより、津波の高さや強度、また区域でどのような波が発生するのかについて数値化して分析することにより、リアルタイムで津波発生シミュレーションを再現することができる。これにより、最適な避難経路を考えたり、津波の被害を最小限に抑えるために効果的な防波堤の設置場所などに応用することが可能になったりする。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
  - (1) 講演時間 60 分 質疑応答時間 15 分
  - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)  
プロジェクター使用による講演
  - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
研究内容が専門的で詳しい内容を含み、英語での理解が難しい部分があるために、講演の途中で日本語同行者にも説明していただいた。
  - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ) 特になし
10. 学校からの支給経費(該当がある場合):  交通費  宿泊費  謝金
11. その他特筆すべき事項: 特になし